

ワークショップ だよ！

Vol.4

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ

in 阿南

📅 と き 平成23年2月23日(水) 18:30~20:30

📍 ところ 阿南市役所 3階 第2会議室

- 🌀 南部圏域(阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)の地域ブランドの創造に向けて、地域の方たち自身で考え作り上げていく“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”を開催しています。
- 🌀 このお便りは、“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”での話し合いの様子をお届けするものです。

ステップ1

はじめに

ワークショップ開催の目的や、外から見た県南地域のイメージなどについて県から説明を行いました。
また、緊張をほぐすため、簡単な体操とゲームを行いました。

ステップ2

地域の強み・弱みについて考えよう

2グループに分かれ、和やかな雰囲気の中で、阿南市の地域の強いところ・弱いところについて意見を出し合いました。
参加者からは、阿南市に対する熱い思いが、みなぎっていました。



調査によると、徳島県は郷土への愛着度は高いが、自慢度が低いという結果でした。



● ワークショップ参加者の皆さんが思うこの地域の…

強いところ!!

- ・山・川・海など何でも揃っている
- ・星がきれい
- ・路地が細い
- ・交通が不便(伊島)
- ・土地が肥沃
- ・風情がある
- ・公園が多い
- ・一年通じての多様なお祭り
(「活竹祭」「水神社祭」「だんじりまつり」…etc)
- ・しらす漁のひかり
- ・阿波公方
- ・写楽誕生の地
- ・大きい発電所がある
- ・LEDの生産地(世界最大)
- ・木工細工・竹細工が盛ん
- ・フィッシュカツ、ハモのかわちく、ハモの天井、竹炭、新野のしいたけ侍、すだち、たけのこ、味付けのりなどの特産品
- ・観光スポット
 - ・お松大権現 日本三大猫神さん
 - ・LEDイルミネーション発祥地(牛岐城公園)
 - ・船瀬温泉
 - ・科学センターの大きな望遠鏡
 - ・午尾の滝
 - ・伊島…etc
- ・野球が盛ん
- ・きれいな球場もある
- ・農業や漁業の体験学習ができる
- ・釣りが楽しめる
- ・ドライブ・サイクリングが楽しめる
- ・老人が元気
- ・人の繋がりがあたたかい
- ・犯罪が少ない

弱いところお〜

- ・公共交通(バス、JR)の便数、時間が不便
- ・車がないと移動に困る
- ・都市圏との距離がある
- ・空港等へのアクセスが遠い
- ・企業誘致のハードルが高い(用地取得が困難)
- ・店の規模が小さい
- ・飲食店が少ない
- ・耕作放棄地が多い
- ・大学がない
- ・商店街に活気がない
- ・娯楽施設がない
- ・海に行きにくい
- ・雇用の場が少ない
- ・若い人が減っている
- ・一次産業の後継者が少ない
- ・人との繋がりがしがらみになっている
- ・祭り離れになってきている
- ・情報発信が弱い
- ・光≠阿南(県外の人には知らない)
- ・LEDイベントを他市町にとられた
- ・何でもあるが、突出したものがない

外の人から見れば、魅力的なモノが埋もれているかも… (〜)°

ステップ3

阿南市の地域のイメージを提案しよう

グループで出された地域の強みや弱みをもとに、阿南市の地域のイメージのもととなるキーワードなどを探りだし、各グループごとに、地域のイメージを提案しました。



各グループから提案された阿南市の地域のイメージ

チーム サワ

- ・田舎
- ・祭り
- ・LED
- ・工業
- ・健康一番
- ・資源豊富
- ・普通のまち
- ・漁師のまち
- ・可能性のまち

チーム 縮図

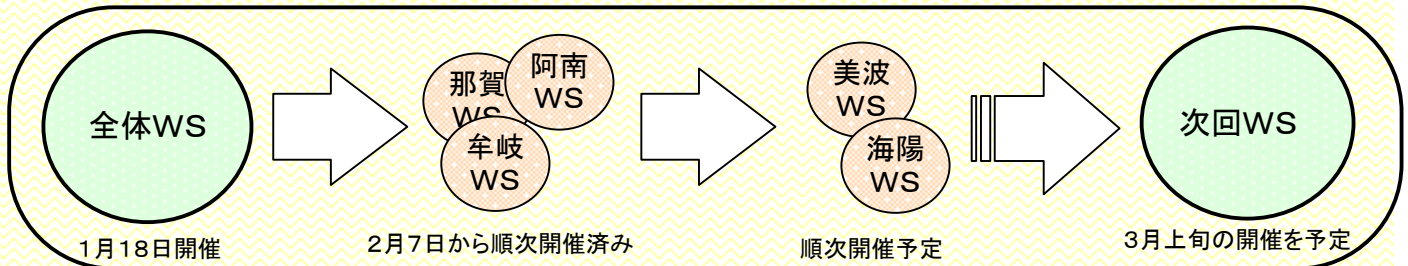
- ・光のまち「LED首都」
- ・「竹」のまち
- ・田舎の産業都市
- ・かぜのまち
- ・縮図のまち
- ・おちつくまち
- ・いやしのまち
- ・四国最東端
- ・漁師のまち

「光」「漁師」「田舎」って
いうところで、共通
した町のイメージなの
かな？ \(\sim\sim\)

ステップ4

今後の予定

全体ワークショップ後、今回を含め、県南1市2町で、ワークショップを開催しました。残りの2町で開催後、各市町での提案内容を材料に、再度全体ワークショップを開催し、県南地域のイメージを固め、地域ブランドの方向性やPR方法などについて検討していきます。



Q: 「地域ブランド」ってなんじゃ？

「地域ブランド」についての明確な定義はありません。和田充夫ほか著「地域ブランドマネジメント」(有斐閣)では、一つの試みとして、『その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつけることで、「買いたい」「訪れたい」「交流したい」「住みたい」を誘発するまち』と定義づけています。

地域ブランドの創造は、一つの特産品を作ることではありません。地域独自の資産を活用して、生産・販売・観光・交流・移住を有機的に結びつけ、地域全体を活性化させるところに、その創造意義があります。

ファンの心を驚掴みにするものは何か、どういふ“提供のしかた”が必要なのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ
についてのお問い合わせは、こちらまで。

徳島県南部総合県民局<美波>

企画振興部 県南振興担当

電話:0884-74-7356(担当:浦西)

